

五十周年をむかえる

白鳥小学校との

児童交流

昭和48年から実施されている羽曳野市立白鳥小学校との児童交流が五十周年をむかえます。

50年の長きにわたる貴重な体験活動です。

昨年度は、新型コロナウイルス感染予防のため実施できませんでした。今後については、これからの交流のあり方を模索しながら話し合いが進められています。



▲ 1974年の児童交流 ▼



今年4月17日(土)に開催されたPTA総会では、これまでの交流の様子を記録したビデオをみんなで視聴したり、加藤PTA会長から、これからの交流に向けてどのような話し合いがされているか説明を聞いたりしました。

児童交流十周年をむかえ、姉妹校縁組契約書に署名している両校児童と校長先生。
(昭和57年 於 白鳥小学校)



2006年春の交流



2003年春の交流



2007年春の交流



2011年夏の交流



2021年春の交流



2008年夏の交流



2010年夏の交流

児童交流は、感性と社会性が育まれる多感なこの時期に、他地方の同年代の子どもたちとの交流を通じ、文化や歴史にふれるとともに、ふるさと赤江の良さを見つめ直すことのできる、とても価値ある活動だと考えます。実施の仕方は変わりますが、今後も続けていく考えです。どうぞご理解のほどよろしくお願いいたします。